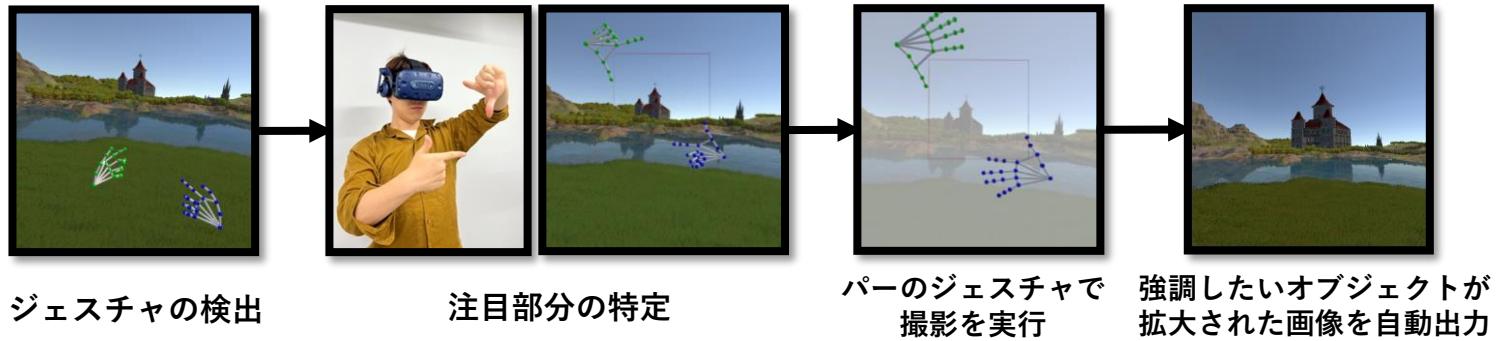


## 研究背景

人間が主観的に捉える風景（知覚像）には、強調されて見える部分が存在し一般的なカメラで撮影した画像（網膜像）との間に差異が発生。  
仮想環境ではこの違和感がさらに増幅するため、知覚像の再現は重要な課題

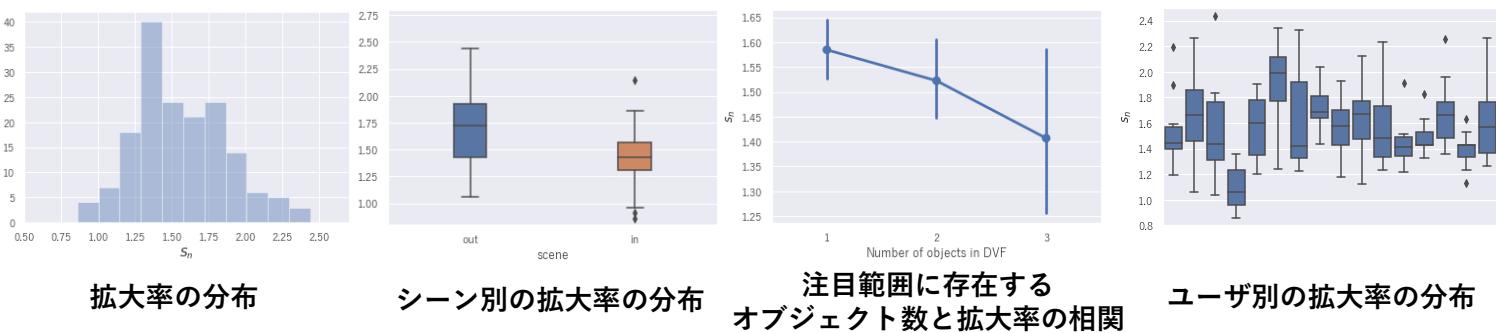
## 研究概要

DVF (Digitus ViewFinder)：仮想シーンのなかで強調したい部分を指定しながら撮影することでユーザの知覚像に近いシーン画像を自動出力するシステム



## 評価実験

実験目的：DVFを用いた場合に拡大率を決定する要因の分析



## 今後の課題

拡大率関数の推定  
最適拡大率の知覚像の自動出力  
個人差のキャリブレーション手法の開発  
上記機能の性能評価実験の実施  
シーンに依存しない拡大手法のデザインと実装

## 科研費

挑戦的研究(開拓) 20K20481 (2020~)

## 公開文献

- 星川 潤, 藤代一成: 「DVF：ハンドジェスチャ インタフェースを用いた仮想シーン知覚像のスケール再現に向けて」, *Visual Computing* 2022, 2022年10月発表予定
- Jun Hoshikawa, Issei Fujishiro: "DVF: Toward Semiautomatic Composition of Perceptual Images of a Virtual Scene Through Hand Gesture Interface", to appear in *Proceedings of the 2022 International Conference on Cyberworlds*, September 2022.